

## 第4次総合計画に対する課題と提言について

所管委員会	建設
-------	----

施策番号：3-3-2

総合計画上の位置付け	都市像	人・自然・地球にやさしい環境共生都市
	政策	自然環境の保全・再生・創造
	施策	施設の緑化を促進する
	項目（指標）	48番 市域面積に対する緑被面積割合（緑被率）

課題の具体的内容	<p>市域面積に対する平面的な緑量を指標とし、基準となる平成12年に計画されていた公園や緑地が全て完成した場合の緑被率をめざそう値として設定していたが、予算や用地の確保が進まず、計画が進捗していないことや、公園は元々自然緑地であったところを開発することも多く、緑被率の増加につながらない場合もあり、想定していたとおりにとなっていない。</p>
提言する内容	<p>公園計画を着実に推進すること。</p> <p>地区計画が設定されている地区においては、建物を建てる際には緑被率の努力義務が設定されているが、その他の地域においても、建物を建てる際には緑の面積を確保するよう、積極的に啓発に取り組む必要がある。</p> <p>既存建築物の屋上緑化の推進にも積極的に取り組む必要がある。</p> <p>指標については実現の可能性等を十分に勘案して設定する必要がある。</p>
その他特記事項	

## 第4次総合計画に対する課題と提言について

所管委員会	建設
-------	----

施策番号：5-1-5

総合計画上の位置付け	都市像	人も、まちも活きいき、美ら島の観光交流都市
	政策	産業の振興
	施策	物流と交流の機能充実を図る
	項目（指標）	78番 対国外・対国内貿易総貨物量

課題の具体的内容	<p>沖縄県は国外、国内の物資輸送が海上輸送及び空輸送に限られているため、物流輸送コストが割高となっている。</p>
提言する内容	<p>総合物流センターを拠点として、原材料を集積し沖縄で製造した製品を県外、国外に発送できるよう、航空貨物も含めた物流機能の拡充を図る必要性がある。</p>
その他特記事項	

## 第4次総合計画に対する課題と提言について

所管委員会	建設
-------	----

施策番号：6-1-1

総合計画上の位置付け	都市像	安心・安全で快適な亜熱帯庭園都市
	政策	都市防災と防犯
	施策	災害に強いまちをつくる
	項目（指標）	87番 耐震基準を満たしている特定建築物の割合

課題の具体的内容	<p>第4次総計で指標として挙げた特定建築物については、ある程度規模が大きい建物で、所有者の自主的な建て替え等もあり、2017年時点の目指そう値である90%に対し現状値88.84%とほぼ達成しているが、建て替えや取り壊しが難しい対象建築物が残っており、今後は耐震化率の向上が鈍くなってくる可能性が考えられる。</p> <p>特定建築物のうち、防災の拠点となる学校については、耐震化されていないものがある。</p> <p>災害に強いまちをつくるうえでは、指標に挙げられた特定建築物の数だけではなく、総数が圧倒的に多い民間住宅の耐震化率向上が必要であるが、住宅については、これまでの耐震診断補助の利用実績も少なく、県の補助事業が打ち切られている。</p>
提言する内容	<p>第4次総計の指標はほぼ達成しており、第5次総計の策定にあたっては、施策である「災害に強いまちをつくる」ために必要な取り組みと指標の設定について、現状を十分に把握して、検討する必要がある。</p> <p>防災拠点となる学校等については適切に耐震化を進めていく必要がある。</p> <p>民間住宅の耐震化率向上のため、利用しやすい補助制度の充実など、適切な措置を講ずる必要がある。</p>
その他特記事項	

## 第4次総合計画に対する課題と提言について

所管委員会	建設
-------	----

施策番号：6-1-5

総合計画上の位置付け	都市像	安心・安全で快適な亜熱帯庭園都市
	政策	都市防災と防犯
	施策	災害時のライフラインを確保する
	項目（指標）	95番 応急給水袋の備蓄数

課題の具体的内容	なし
提言する内容	なし
その他特記事項	

## 第4次総合計画に対する課題と提言について

所管委員会	建設
-------	----

施策番号：6-1-5

総合計画上の位置付け	都市像	安心・安全で快適な亜熱帯庭園都市
	政策	都市防災と防犯
	施策	災害時のライフラインを確保する
	項目（指標）	96番 復帰以前の敷設管改築延長（下水道污水管）

課題の具体的内容	上水道の耐震化について指標が設定されていない。
提言する内容	老朽下水道管の改築のみならず、上水道の耐震化も含めた指標設定の必要性がある。
その他特記事項	

## 第4次総合計画に対する課題と提言について

所管委員会	建設
-------	----

施策番号：6-2-1

総合計画上の位置付け	都市像	安心・安全で快適な亜熱帯庭園都市
	政策	市街地の整備
	施策	地域特性を活かした土地利用をすすめる
	項目（指標）	97番 地区計画が設定されている地区の数

課題の具体的内容	市営住宅の建替えや区画整理事業、道路の拡幅などに併せて地区計画の設定を行ってきたが、市街地のスプロール化により無秩序に形成された地域などにおいて、住民の合意に基づいて地区計画を設定していくことが困難となっている。
提言する内容	地区計画の設定については、地域住民の合意形成を十分に図って行う必要があり、第5次総計の策定にあたっては、地域特性を活かした土地利用の推進に向けて、適切な指標の設定が必要である。
その他特記事項	

## 第4次総合計画に対する課題と提言について

所管委員会	建設
-------	----

施策番号：6-2-1

総合計画上の位置付け	都市像	安心・安全で快適な亜熱帯庭園都市
	政策	市街地の整備
	施策	地域特性を活かした土地利用をすすめる
	項目（指標）	98番 地区のまちづくりに取り組む市民組織の数

課題の具体的内容	行政主導のまちづくり組織ではなく、市民の主体的な活動による組織づくりの方策が課題となっている。
提言する内容	まちづくり協働推進課が所管する「校区まちづくり協議会」と連携するなど庁内体制を整え、積極的に市民に働きかけるなど、市民組織が増えるよう、方策を検討する必要がある。
その他特記事項	

## 第4次総合計画に対する課題と提言について

所管委員会	建設
-------	----

施策番号：6-2-2

総合計画上の位置付け	都市像	安心・安全で快適な亜熱帯庭園都市
	政策	市街地の整備
	施策	快適で魅力ある市街地をつくる
	項目（指標）	99番 中心市街地の居住人口

課題の具体的内容	<p>国際通り周辺の中心市街地においては、戦後に形成された密集住宅が老朽化しており、居住環境の改善が必要となっている。</p>
提言する内容	<p>第4次総計のめざそう値である中心市街地の居住人口は停滞しており、今後の大規模な再開発事業の見込みもないことから、適切な指標の設定について検討が必要である。</p>
その他特記事項	



## 第4次総合計画に対する課題と提言について

所管委員会	建設
-------	----

施策番号：6-2-3

総合計画上の位置付け	都市像	安心・安全で快適な亜熱帯庭園都市
	政策	市街地の整備
	施策	快適に住み続けられる住宅環境を整える
	項目（指標）	100番 市営住宅の更新戸数

課題の具体的内容	市営住宅は空き待ちの競争率も高く、入居希望者のニーズが多いが、絶対的戸数が不足している。
提言する内容	市営住宅の戸数を増やす取り組みが必要である。
その他特記事項	

## 第4次総合計画に対する課題と提言について

所管委員会	建設
-------	----

施策番号：6-2-3

総合計画上の位置付け	都市像	安心・安全で快適な亜熱帯庭園都市
	政策	市街地の整備
	施策	快適に住み続けられる住宅環境を整える
	項目（指標）	101番 地域優良賃貸住宅の供給戸数

課題の具体的内容	なし
提言する内容	なし
その他特記事項	

## 第4次総合計画に対する課題と提言について

所管委員会	建設
-------	----

施策番号：6-3-1

総合計画上の位置付け	都市像	安心・安全で快適な亜熱帯庭園都市
	政策	交通体系の整備
	施策	誰もが移動しやすいまちをつくる
	項目（指標）	102番 公共交通機関利用者数（市内線バスとモノレール）

課題の具体的内容	<p>モノレール利用者数は増加しており、延長整備も推進されているが、一方でモノレールやバス路線網等の公共交通機関の整備が不十分な地域があり、また、利用者を増やすための割引制度も少なく、依然として全国ワースト1位の交通渋滞状況である。</p>
提言する内容	<p>基幹的公共交通の段階的導入に向けたコミュニティバスの実証実験後、民間バスの継続運行につながった事例や、真和志地域におけるデマンド型乗合タクシーの実証実験でも利用者の需要があることが認識されており、今後も基幹的公共交通システム（LRT等）の導入検討など、誰もが移動しやすい公共交通網を整備し、全国ワースト1位の交通渋滞状況を改善する必要がある。</p> <p>複数の公共交通機関での乗り継ぎ割引など、各種の割引制度を拡充し、利用者の増加を図る必要がある。</p>
その他特記事項	

## 第4次総合計画に対する課題と提言について

所管委員会	建設
-------	----

施策番号：6-3-1

総合計画上の位置付け	都市像	安心・安全で快適な亜熱帯庭園都市
	政策	交通体系の整備
	施策	誰もが移動しやすいまちをつくる
	項目（指標）	103番 交通手段に占める自家用車の割合

課題の具体的内容	<p>2006年時点の49.9%から2017年時点で40%をめざそう値としていたが、現状値は57.7%と大きく増加しており、那覇市内の交通渋滞も緩和されていない。</p>
提言する内容	<p>自家用車の保有台数が大きく増加した原因を分析し、自家用車利用の割合を減らすための方策を検討する必要がある。</p> <p>また、市内の交通渋滞緩和のためには、市民のみならず、通勤などのため市外から流入してくる乗用車や、観光客などの利用するレンタカーの利用台数なども勘案し、円滑な交通環境確保のための方策を検討する必要がある。</p>
その他特記事項	

## 第4次総合計画に対する課題と提言について

所管委員会	建設
-------	----

施策番号：6-3-2

総合計画上の位置付け	都市像	安心・安全で快適な亜熱帯庭園都市
	政策	交通体系の整備
	施策	体系的な道路網をつくる
	項目（指標）	104番 身近な道路の快適さ・使いやすさについての満足度

課題の具体的内容	自動車交通量に対する幹線道路の整備が十分でないこともあり、生活道路を通り抜ける通過交通が発生し、通学路などにおいて市民生活の安全を脅かす原因にもなっている。
提言する内容	道路によって管理者や所管部署が異なる場合でも相互に連携して速やかに総合的な改善が行えるよう、組織を横断する推進体制の構築が必要である。
その他特記事項	

## 第4次総合計画に対する課題と提言について

所管委員会	建設
-------	----

施策番号：6-3-2

総合計画上の位置付け	都市像	安心・安全で快適な亜熱帯庭園都市
	政策	交通体系の整備
	施策	体系的な道路網をつくる
	項目（指標）	105番 道路改良率

課題の具体的内容	前項目と同様、生活道路の利便性・安全性の向上のため、計画的に整備を進める必要がある。
提言する内容	道路によって管理者や所管部署が異なる場合でも相互に連携して速やかに総合的な改善が行えるよう、組織を横断する推進体制の構築が必要である。
その他特記事項	

## 第4次総合計画に対する課題と提言について

所管委員会	建設
-------	----

施策番号：6-4-1

総合計画上の位置付け	都市像	安心・安全で快適な亜熱帯庭園都市
	政策	上下水道の整備
	施策	安全でおいしい水道水を安定的に供給する
	項目（指標）	106番 広報紙の認知度

課題の具体的内容	なし
提言する内容	なし
その他特記事項	

## 第4次総合計画に対する課題と提言について

所管委員会	建設
-------	----

施策番号：6-4-1

総合計画上の位置付け	都市像	安心・安全で快適な亜熱帯庭園都市
	政策	上下水道の整備
	施策	安全でおいしい水道水を安定的に供給する
	項目（指標）	107番 新規申請の直結率

課題の具体的内容	なし
提言する内容	なし
その他特記事項	



## 第4次総合計画に対する課題と提言について

所管委員会	建設
-------	----

施策番号：6-4-2

総合計画上の位置付け	都市像	安心・安全で快適な亜熱帯庭園都市
	政策	上下水道の整備
	施策	公共下水道の整備・普及を推進する
	項目（指標）	108番 下水道普及率

課題の具体的内容	<p>下水道普及率は98%となっており、2017年時点でのめざそう値99.1%をほぼ達成しているが、未接続世帯が8,941世帯あり、実態調査によると、道路より低地、距離が長いなどの地形的困難、接続工事費が高く経済的に困難、家屋の老朽化、借地借家で地主の同意が得られない、などが未接続の理由となっている。</p>
提言する内容	<p>下水道普及率100%を目指し、トイレの汲み取りをなくすよう取り組みを積極的に推進する必要がある。</p>
その他特記事項	

## 第4次総合計画に対する課題と提言について

所管委員会	建設
-------	----

施策番号：6-5-1

総合計画上の位置付け	都市像	安心・安全で快適な亜熱帯庭園都市
	政策	自然と調和したまちなみ
	施策	自然を感じられるまちをつくる
	項目（指標）	109番 一人当たり都市公園面積

課題の具体的内容	<p>計画している公園が全て完成することを想定しためざそう値としているが、用地取得等に時間を要する案件が残り、公園整備面積の伸び率は低くなってきている。</p>
提言する内容	<p>公園が完成し供用開始されないと換算されない指標となっており、実際の事業進捗状況がわかりにくいため、指標の設定方法について検討する必要がある。</p>
その他特記事項	

## 第4次総合計画に対する課題と提言について

所管委員会	建設
-------	----

施策番号：6-5-1

総合計画上の位置付け	都市像	安心・安全で快適な亜熱帯庭園都市
	政策	自然と調和したまちなみ
	施策	自然を感じられるまちをつくる
	項目（指標）	110番 自然と調和したまちづくりだと感じている人の割合

課題の具体的内容	<p>市民意識調査の結果を指標としており、めざそう値を65%と高く設定していたが、「自然との調和」の解釈が曖昧であることもあり、市民の評価が分散している。</p>
提言する内容	<p>市民意識調査の設問をより具体的にするなど、適切な指標が設定できるよう検討する必要がある。</p>
その他特記事項	

## 第4次総合計画に対する課題と提言について

所管委員会	建設
-------	----

施策番号：6-5-2

総合計画上の位置付け	都市像	安心・安全で快適な亜熱帯庭園都市
	政策	自然と調和したまちなみ
	施策	地域にあったまちなみをつくる
	項目（指標）	111番 都市景観形成地域における赤瓦など工事への助成数（累計）

課題の具体的内容	なし
提言する内容	なし
その他特記事項	

## 第4次総合計画に対する課題と提言について

所管委員会	建設
-------	----

施策番号：6-5-2

総合計画上の位置付け	都市像	安心・安全で快適な亜熱帯庭園都市
	政策	自然と調和したまちなみ
	施策	地域にあったまちなみをつくる
	項目（指標）	112番 地域に合ったまちづくりがされていると感じる人の割合

課題の具体的内容	<p>市民意識調査の結果を指標としており、2017年時点のめざそう値50%に対して現状値33.4%となっている。首里地域では46%と比較的高いが、その他の地域では低くなっている。</p>
提言する内容	<p>市民意識調査の結果を指標とすることは、主観的になりやすいため、より客観的に判断できる指標の設定が必要である。</p>
その他特記事項	